

信州中野

2015
12
No.366



商工会議所ニユース

信州中野商工会議所

●ホームページ： <http://www.nakanocci.or.jp/>

●E-mail： info@nakanocci.or.jp

今月号のみどころ

- ・中野えびず講・産業展
盛況に開催
- ・「光と音のシンフォニー」
イルミネーション点灯中
(～1月10日迄)
- ・企業と人、“おめざ”



▶100人えびず大行進
「七福神による大盤振舞」

中野えびす講 11月 14日・15日

・産業展盛況に開催

中野えびす講・産業展は14日・15日の2日間開催しました。両日とも曇り時々雨と天候には恵まれませんでした。一部のイベントを除き予定どおり行うことができました。

◇14日
恒例の「1000人えびす大行進」が行われ、市街地5カ所で七福神による「大盤振る舞い」が行われ、福を求めて大勢の人が集まりました。中野西高マーチングバンドは市街地を演奏しながら行進しました。

陣屋前のステージでは14組が出演する「ダンスフェス2015」が行われました。各組とも、日頃の練習の成果を發揮し、会場内は歓声や拍手

▶鬼島太鼓の演技



に湧きました。北信濃ふるさと森文化公園では、午後7時から「花火大会」が行われ、約370発が打上げられました。昨年より多くの市民並びに企業からご提供いただき、晩秋の夜空に大輪の花を咲かせました。

◇15日
「鬼島太鼓」、「ふるさと太鼓」、「中野立志館高校の吹奏楽部」の演奏が市街地各所で披露されました。新企画の「中野のまちでリアル宝探し」には小中学生120名が参加。商店街に隠された宝を探してお店を回っていました。

◇14日・15日両日
第31回中野市産業展は、中

▶産業展記念講演・錦見泰郎氏 (錦見鑄造代表取締役)



野勤労者福祉センターを会場に2日間開催しました。市内28企業・団体による製品等の展示・販売、記念講演会など、多くのイベントが行われました。体験型イベントの「ミニ豊づくり」、「こけ玉づくり」、「プラントークリ」・「どろだんごをつくろう」は、大変人気でした。

中野陣屋前広場公園及び周辺では、「えびす市」、「はたらく車大集合」を開催。「えびす市」は当所会員15店が出



花火大会 大スターメイン

- ☆期間中の人出
18,000人
(14日 12,000人)
(15日 6,000人)
- ☆露店出店数
104店
- ☆産業展入場者数
4,933人
(14日 2,676人)
(15日 2,257人)

本年の中野えびす講・産業祭に寄付並びに花火の提供を賜りました市内企業の皆様、催事にあたりご協力いただきました企業・団体の皆様のおかげにより、成功裏に終了することができましたこと、改めて御礼を申し上げます。

店して販売・PRを行いました。「はたらく車大集合」は、建設作業車(協力・中野市建設業協会)、高所作業車(協力・中野電機工業(株))、消防救助工作車(協力・岳南広域消防本部)、パトカー(中野警察署)の試乗・展示が行われ、子供達には大変人気でした。

取引先の信用調査に 当所会員無料

日経テレコン

【取引先の信用度を知りたいとき】(会員無料)

新たに取引の申込みを受けたとき、遠隔地の企業と取引をするときや、取引先の悪い噂を聞いたときなどにご利用下さい。

全国の514商工会議所のネットワーク、日経テレコン21(東京商工リサーチ、帝国データバンク、日経会社プロフィール等)を使い、取引先の信用調査をいたします。

問合せ、申込先 当所経営支援課 TEL 0269-22-2191 FAX0269-26-7007

がんばる経営応援します 中小企業のみならず まずはご相談下さい

経営上の問題解決に **出張相談** をご利用下さい

～個別巡回専門経営相談～

ステップ1 相談申込
電話、FAX、来所

ステップ2 相談内容の検討
専門家の選定

ステップ3 企業への派遣
諸問題の解決支援

問合せ、申込先 当所経営支援課 TEL 0269-22-2191 FAX0269-26-7007

商工会議所各種ダウンロードサービスが便利です。
会員情報各種変更届等 当所ホームページからダウンロードできます。(URLは表紙に記載)



点灯式会場には大勢が集まった

イルミネーションが今年も点灯 〜黒姫様への願いの鐘を設置〜

『中野陣屋 光と音のシンフォニー実行委員会』(宮崎博文実行委員長)では、今年で4回目となるイルミネーションの点灯式を11月21日、陣屋前広場公園ステージにて開催しました。

中野線の街路樹や陣屋前広場公園などに約4万球のLED

Dイルミネーションで装飾。今年も街を明るくしている。

今年、県建築士会中高支部の全面協力のもと、陣屋前広場公園ステージ前に高さ約6メートルのツリー状のイルミネーションを2基設置。ステージ中央にはイルミネーションで飾られたアーチとその奥には「黒姫様への願いの鐘」が設けられ、実行委員会では「鐘を鳴らして願い事をする」と願いが叶うかもとしている。

また、周辺商店街の39店舗ではイルミネーションを飾り、このうち20店舗には市内の小学校の児童が作った「LEDランプシェード」も飾っている。

点灯式には、池田市長、山田会頭ほか大勢の来賓と「LEDランプシェード」をつくった児童も加わり、市内で活動する「Carra トーンチャイムクラブ」の演奏とカウントダウンにあわせ点灯スイッチが押され、ライトアップが始まった。同日は、中野陣屋・県庁

記念館でコンサートも開催。約250人の来場があり、中野市内などで活躍する6組の様々な演奏を楽しんだ。



あいさつする
山田会頭



中野陣屋光と音のシンフォニー
実行委員会 宮崎実行委員長

イルミネーションは、年明け1月10日までの午後4時30分〜11時まで、毎日点灯している。



陣屋前 柳並木も点灯

女性会

若手後継者等育成事業 スキルアップセミナー

飯山・須坂・信州中野の3商工会議所女性会合同によるスキルアップセミナーが、11月26日に飯山市の「ホテルほていや」にて開催され、当女性会からは11名が参加しました。

今回の講演には、「ズームイン!朝」で元キャスターを務めたPRコンサルタントの小紫真由美氏を講師にお迎えし、「話す力」「好感力」を高める方法」と題し、「講演いただきました。

講演では、ビジネスで成功するために、相手に上手に伝える「話す力」と相手を惹きつける「好感力」の両方が必要であり、コミュニケーションの基本は、相手の立場、相手の目線で伝えることが大切。話し方の実践も交えた講演で、参加者も楽しくおしゃべりしながら話し方について学ぶことができました。

講演会終了後の昼食会では、



講師 小紫真由美 氏

3所女性会の楽しい交流の機会となりました。

商工会議所では、
新規会員事業所
募集中です

～未加入事業所をご紹介ください～

商工会議所共済保険料・掛金の口座振替は毎月23日です。(但し、振替日が土・日・祝日の場合は翌営業日)

中野市製造業の景況調査の概況

平成27年7月-9月期(実績)
調査対象20企業

当市製造業の前年同期比業況判断DIは、平成24年10-12月期に底を打ち、平成25年10-12月期調査からプラスに転じ、平成27年10-12月期まで6期連続でプラスとなった。しかしながら、前回の平成27年4-6月期調査において0.0ポイントになり、今回調査でも5.0ポイントと低調であった。また、今期の水準業況DIも5.0ポイントであり、業況の転換期、パラダイムの変化が見てとれるところである。見通し業況判断DIについても、0.0ポイントで業況の停滞感が窺える。

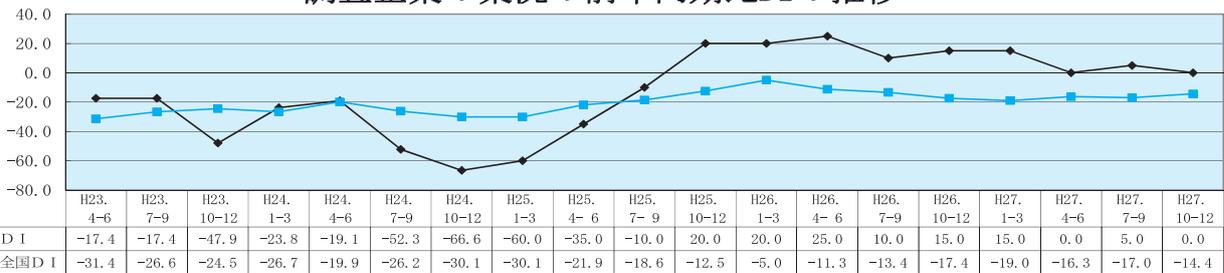
当市製造業の業態は受注生産中心型が多く、完成品の生産が殆ど無いことから、国内メーカーの生産計画により、大きく業況が左右される。メーカーにおいては為替差益の影響で利益計上できている企業が多いところである。一方で、地域中小企業においては、受注数量は一定量確保しているが、短納期、低単価の状況が続いている。

国内消費する製品・部品のみを国内生産するというメーカーのスタンスに変化はなく、国内需要の拡大が業況改善には必要不可欠である。このような中で、いかに製品単価の引下げ要請を回避することができるか。加えて、耐用年数を超えた設備機械を更新し、顧客の品質、短納期の要望に応えていくかが今後も継続する問題である。

業況判断では、対前年同期比で調査企業20社中「好転」が8社(40.0%)、「不変」が5社(25.0%)、「悪化」が7社(35.0%)と回答している。また、今期の水準における業況判断は、「良い」が6社(30.0%)、「ふつう」が9社(45.0%)、「悪い」と回答した企業が5社(25.0%)である。

業況判断(前年同期比)	好転	不変	悪化	DI
H27.7月-9月	8社(40.0%)	5社(25.0%)	7社(35.0%)	5.0ポイント
H26.7月-9月	7社(35.0%)	8社(40.0%)	5社(25.0%)	10.0ポイント

調査企業の業況の前年同期比DIの推移



業況判断(水準)	良い	ふつう	悪い	DI
H27.7月-9月	6社(30.0%)	9社(45.0%)	5社(25.0%)	5.0ポイント
前回調査:H27.4月-6月	6社(30.0%)	8社(40.0%)	6社(30.0%)	0.0ポイント

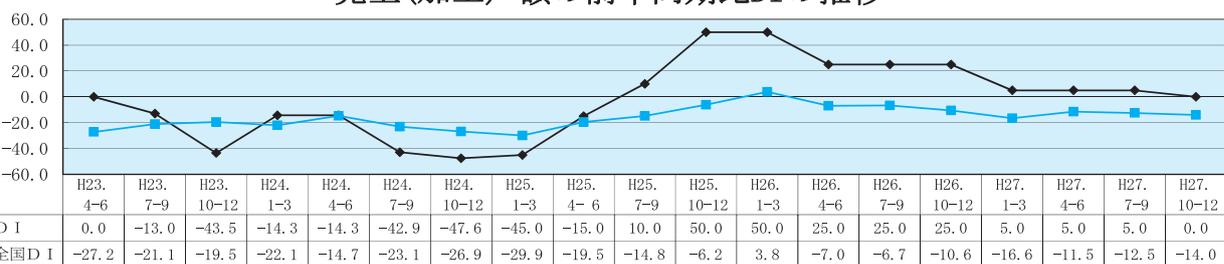
1 売上の動向

売上額の前年同期比DIでは、「増加」が8社(40.0%)、「不変」が5社(25.0%)、「減少」が7社(35.0%)と回答している。受注数量の前年同期比DIでは、「増加」が9社(45.0%)、「不変」が6社(30.0%)、「減少」が5社(25.0%)と回答している。

売上額、受注数量のDI値がプラス値ではあるが、前回調査と比べて減少している。先行きについては、メーカーの生産調整の時期が前倒しとなっているとの声もあり、既存品については減少が予見される。

売上額(前年同期比)	増加	不変	減少	DI
H27.7月-9月	8社(40.0%)	5社(25.0%)	7社(35.0%)	5.0ポイント
H26.4月-6月	10社(50.0%)	5社(25.0%)	5社(25.0%)	25.0ポイント

売上(加工)額の前年同期比DIの推移



贈り物やお返し...何にしようか迷った時は

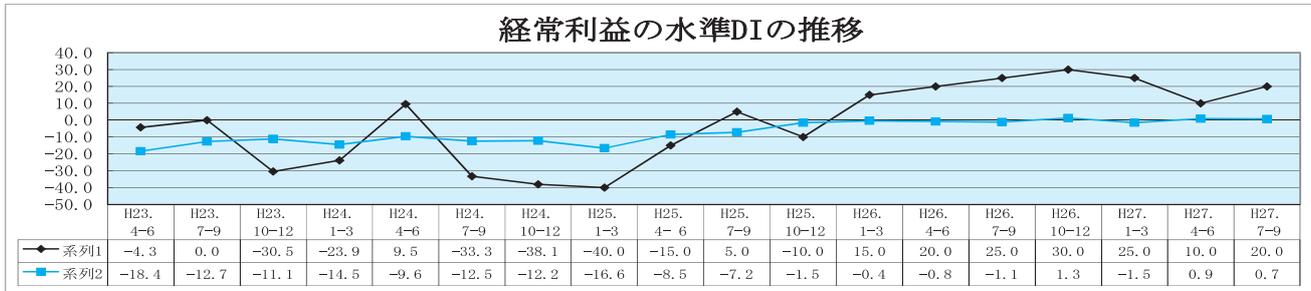
中野市内約270店で使える商工会議所発行
共通商品券が便利です。

2 利益の動向

経常利益の水準DIは、「黒字」が8社(40.0%)、「収支トントン」が8社(40.0%)、「赤字」が4社(20.0%)と回答している。

利益確保ができていない企業は、顧客ニーズに即した製品の受注並びに新規取引先の確保で、受注数量が増加している。しかしながら、既存製品のリピート品のみの受注しか確保できていない企業は、原材料価格の高止まり及び低単価であることから利益の確保が困難な状況である。

採算(水準)	黒字	収支トントン	赤字	DI
H27.7月 - 9月	8社(40.0%)	8社(40.0%)	4社(20.0%)	20.0ポイント
前回調査:H27.4月 - 6月	8社(40.0%)	6社(30.0%)	6社(30.0%)	10.0ポイント



3 経営上の問題点

国内経済の停滞、内需の拡大が見られないことから、「国内需要の低下」を挙げる企業が20社中11社(55.0%)であった。消費者の購買行動が、高額商品か低額商品かの二極化の中で、厳しい吟味・選別の上に決定することからの「製品ニーズの変化への対応」が10社(50.0%)。

生産設備を更新するまで回復していないことから「生産設備の老朽化」を問題に挙げる企業が9社(45.0%)あった。

4 見通しについて

金型については、売り型を含めて堅調な受注がある。今後、成形品に結び付くことができれば、成形品の受注が増加する。調査対象企業では先行きの受注数量の増加に期待して、見通し受注数量DIを25.0ポイントと予測しているところである。

なお、業況が前年同期(平成26年10 - 12期)と比べて「好転」と回答した企業は5社(25.0%)、「不変」とする企業は10社(50.0%)、「悪化」とした企業が5社(25.0%)である。

※DIとは 業況判断指数で「良い」、「ふつう」、「悪い」の比率を出し、「良い」と答えた割合から「悪い」と答えを引いた指数。

≡≡中野労働基準監督署から会員の皆様へ≡≡

日ごろから、中野労働基準監督署の業務運営に、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当署管内における平成27年10月末日現在の休業4日以上の労働災害の死傷者数は150人(対前年18人増。うち死亡者は3人で対前年2人増)と大幅に増加しており、大変憂慮すべき状況となっております。

また、冬季には転倒災害が増加する傾向にあり、平成26年7月から平成27年6月までの1年間に発生した休業4日以上の転倒災害のうち、12月から3月までに発生した転倒災害は30人で、全体の62.5%(平成27年1月は14人、次いで平成26年12月が7人)を占めております。発生した災害の多くは休業見込み1ヶ月以上で、中には3ヶ月や6ヶ月以上という重篤な災害もあることから、事業活動に与える影響も大きく、企業としても早めの対策が求められます。

積雪・凍結による転倒災害防止のポイントとして

- 時間に余裕をもって行動する
- 駐車場内や駐車場から職場までの間に安全な通路を確保する
- ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知する
- 雪道や作業に適した靴を使用する

凍結注意!



等が挙げられます。

今年も残すところわずかとなりましたが、会員のみなさまにおかれましては、今後一切労働災害を発生させない、特に転倒災害を「ゼロ」にするという強い決意のもと、労使一体となって労働災害の防止にご尽力下さいますよう、お願い申し上げます。

なお、中野労働基準監督署では「転倒災害ゼロ宣言!」活動を展開しております。インターネットでも公開しておりますので「中野 転倒ゼロ」でご確認下さい。

高橋進の経済七

「内需が経済好循環持続のカギ ・賃金と設備投資はなぜ増えないのか」

日本総合研究所理事長 高橋 進

中国経済の成長鈍化が世界経済に影響を落としている。日本の実質成長率は4〜6月期7〜9月期と2四半期連続でマイナス成長となったが、その主因は輸出の失速である。中国経済が今後さらに悪化するとは見込まれないものの、現在のような状態がしばらく続くと見た方がよさそうである。これまでのような輸出の伸びが期待できない下で、日本経済が成長を維持していくためには、内需を着実に伸ばしていく必要がある。内需の鍵を握るのは、言うまでもなく企業の設備投資と個人消費である。

幸い、大企業の収益は過去最高水準に達している。収益

拡大を反映して配当性向の引き上げはもとより、日本企業による海外企業のM&Aも増加している。ただし、企業の設備投資や研究開発投資、あるいは賃金引き上げなどへのキャッシュアウトの動きは総じて低調だ。これを反映して、企業の手元の現預金などの増加が続いている。

企業の保有する設備は老朽化が進んでおり、更新投資であつても省エネ・省力化などを通じた生産性向上の効果は大きいはずである。実際、大企業の年度初めの設備投資計画は2桁に達していた。それにもかかわらず実際の設備投資は低調に推移している。また、賃金は過去2年間に

昇ってきたが、それでも企業収益の大幅な伸びに比べれば、その伸びは低く、結果的に労働分配率の低下が続いている。なぜ企業収益の伸びに比べて、設備投資や賃上げの動きは鈍いのだろうか。企業経営者がいまだにデフレ・マインドを引きずっていることが一因であろう。また、リーマンショックを経て、企業経営が外部環境の変化に敏感になっていることも考えられる。今回も、中国ショックが企業のマインドに大きく影響していることが考えられる。

一方で、ROEなどの物差しで見た日本企業の収益力はまだ高いとはいえない。それにもかかわらず、借入などでレバレッジを効かせるわけでもなく、いたずらにキャッシュを貯め込むばかりでは、収益力の向上は望めない。株主とりわけ海外の株主から見れば、日本企業の経営努力は十分とはいえないのではないかと本来であれば、そうした経営スタンスは市場からの批判の目にさらされる。しかし日本ではコーポレート・ガバナンスがまだ十分に機能していないこともあつて、企業経営者

が四半期ごとの決算など目先の利益に一喜一憂し、将来の収益を左右する成長力強化のための市場開拓や投資をなおざりにするような、近視眼的な経営が許されているのではない。安倍政権になって、政府は企業に対し再三にわたつて賃上げを要請してきた。さらに官民対話などを新たな対話のチャンネルをつくつて、設備投資拡大も求めている。政府の企業部門に対するこうした干渉は、深入りし過ぎであるとの批判もあるが、政府としては、財政健全化を進めるために消費税を引き上げて個人に負担を求める一方で、経済活性化のために法人税の引き下げを進めてきた経緯がある。企業部門にプレッシャーをかけるのは当然であろう。

(12月1日執筆)

高橋 進/たかはし・すすむ

1953年生まれ。一橋大学経済学部卒業後、76年住友銀行に入行。ロンドン駐在、経済調査部などを経て、90年日本総合研究所に着任。2000年から04年まで早稲田大学大学院アジア太平洋研究科客員教授、03年から近畿大学経済学部・経営学部客員教授を務める。現在、テレビのコメンテーターとしても活躍中。著書『10年後の日本を読む「先見力」のつけ方』（徳間書店）のほか、日本経済新聞、産経新聞などに多数執筆。



企業と人

カネ力商店



小橋 清 和さん

298

今回は、豊田支部の支部長をこの春から務めていただいております。カネ力商店の小橋清和さんをご紹介します。お話しを伺ってきました。

まず、屋号のカネ力商店のお名前の由来をお聞きしました。一代目祖父の加一郎さんが、材木屋を始めて大工さんがよく使われる差し金と祖父の加一郎さんの「加」を組み合わせて「加(カネカ)商店」とされたそうです。その後、二代目父の清一郎さんが建設業に業種転換しました。清和さんは、高校卒業後、東京の家電関連の専門学校を卒業。家電メーカーに就職しましたが、家庭の事情で帰郷し、家業を継ぐこと

を決めたそうです。現在は、建築土木を主に住宅基礎やエクステリア(塀)工事と水田を重機で起こしたりする仕事を、されています。「大変なことは」と何うと、「天候です。外仕事だと仕上げなどする際、雨が降ると出来なくなってしまう」とおっしゃっていました。このほか、りんごを4反歩栽培されています。栽培品種は、つがる、シナノス

イト、シナノゴールド、サンふじです。仕事のやりがいについて何うと、「何も無いところから住宅の基礎ができ、建物が出来てくるとき。りんご栽培も、『1年間、手塩にかけ、実のり・収穫できるようにになったとき』とおっしゃっていました。この度は、お忙しい時に、長時間の取材にご協力いただき、ありがとうございます。ご家族様のご健康をご祈念いたします。ありがとうございます。(取材者 畠山清光)

おすすめ 『おめざ』

喰庵しゅう坊



ぶりの活メ ぶりしゃぶコース(要予約)

新鮮なお造りがメインです。定番の手造り豆腐や出し巻たまごが人気です。グランドメニューの他に、その日のお薦めメニューは20種類以上用意しています。お1人様でも、お気軽にどうぞ!!

〈問合せ先〉 中野市小田中4 2 0 - 1
☎ 2 4 - 6 0 0 2
水曜定休 (予約で営業可)

中野市役所 税務課からのお知らせ

～給与支払者(事業主)の皆さんへ～

給与支払報告書の早期提出と個人住民税の特別徴収をお願いします。

平成27年中に、給料、賃金、歳費、賞与等の支払いを行った会社や個人(給与支払者)は、地方税法により、原則として、従業員が平成28年1月1日現在居住する市区町村長あてに「給与支払報告書」を提出しなければならないとされています。

給与支払報告書の提出期限は2月1日(月)です。1月中の早期提出にご協力をお願いします。

また、給与支払者は、地方税法及び市税条例により、原則として、従業員の個人住民税(個人市民税・個人県民税)を「特別徴収」しなければならないとされています。

この特別徴収とは、6月から翌年5月までの間、給与支払者が、従業員に毎月支払う給与から個人住民税を天引きし、従業員に代わって市へ納入していただく制度です。

未実施の給与支払者の方は、特別徴収を行っていただくようお願いします。

特別徴収を行うには、給与支払報告書の提出時に、特別徴収できる方と退職等の理由で特別徴収できない方(普通徴収)を仕切り紙等で区分していただく必要があります。特別徴収に区分された方については、税額通知書を、5月中旬に、市から給与支払者あてにお送りします。

なお、現在、**長野県と県内市町村との協働により、所得税の源泉徴収義務がある全ての給与支払者に、個人住民税を特別徴収していただくようにする取組みについて、調査研究がされています。**

問い合わせ先 市役所税務課課税係 ☎0269(22)2111(内線225)



予告 中野市新春経済講演会 問い合わせ先 信州中野商工会議所 ☎22-2191 FAX26-7007



演題 『国際情勢と日本経済』 (仮)

外交政策研究所 代表 宮家邦彦氏

日時 平成28年 1月8日(金) 14:00 ~ 15:30

※訂正 11月号でお知らせした1月7日(木)は誤りです。

会場 中野市中央公民館3階講堂 (中野市三好町1-4-27)

プロフィール: 1978年3月 東京大学法学部卒業, 1978年4月 外務省入省, 1991年10月 在米国大使館一等書記官, 1996年7月 中近東第二課長, 1998年1月 中近東第一課長, 1998年8月 日米安全保障条約課長, 2000年9月 在中国大使館公使, 2004年1月 在イラク大使館公使, 2004年7月 中東アフリカ局参事官, 2005年8月 外務省退職、外交政策研究所代表に就任, 2006年4月 立命館大学客員教授, 2006年10月 ~ 2007年9月 総理公邸連絡調整官, 2009年4月 キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹

主催 信州中野商工会議所 共催 一般社団法人信濃中野法人会 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会

事務局日誌 平成27年11月

- 2 月 女性会役員会 日本生活金融公庫国民生活事業定例相談会 光と音のシンフォニー実行委員会 青年部役員会
4 水 信州中野無相大師奉賛会理事会 11月議員例会 幹事会 補助員等研修会 労働保険事業主説明会 平成27年度北信地区人権研修会
5 木 第5回中野市総合計画審議会
6 金 広報委員会
7 土 光と音のシンフォニー ランプシェード作り教室 関西「ふるさと信州中野会」総会
8 日 無相大師奉賛会開山諱
9 月 中高職業訓練協会常任理事会
10 火 中野市水道事業運営審議会 JA中野市との懇談
11 水 雇用保険適用関係事務実務講習会
12 木 マル経審査会
13 金 中野市総合計画審議会・答申 信濃中野税務署長納税表彰式 平成27年度第2回生涯学習推進会議
14 土 えびす講・産業展(～15日)
15 日 第141回日商簿記検定
17 火 (一社)信濃中野法人会第27回会員大会 中小企業振興センター活性化事業中間監査 平成27年度第2回小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会 青年部50周年会議
18 水 日商委員会(～19日) 2015差別をなくす市民集会
19 木 年末調整説明会
21 土 光と音のシンフォニー(点灯式)
24 火 中野市水道事業運営審議会 妙心寺霊雲院 則竹秀南老師講演会並びに歓迎夕食会 丸山耕司氏の金賞受賞を祝う会
25 水 平成27年度第3回中野市健康づくり推進協議会 青年部 経済委員会
26 木 若手後継者等育成事業講演会及び交流会(女性会) 信州中野きのこのお菓子振興プロジェクト会議 信州なかのふるさと情報コミュニティ会議 正副会頭会議 総務委員会 常議員会 11月議員例会 えびす講・産業展 反省慰労会
27 金 中野市新事業・新製品開発補助金審査会 商業委員会・商連・青年部懇談会
30 月 北信ブロック経営指導員研修

定 価:1部 50円(会員の購読料は会費に含まれています。) 発行所:信州中野商工会議所 長野県中野市中央1丁目7-2 TEL0269-22-2191 FAX0269-26-7007 発行人:池田 喜芳 編集人:宮川 浩

商 工 会 議 所 情 報 板

日本政策金融公庫の定例相談日

来月は、1月15日(金) 午前10時～ (原則・毎月第1月曜日) 場所 当所 第2会議室

中野市指定ごみ袋の販売

1. 定期配達販売

Table with 3 columns: 区分, 12月, 1月. Rows: 注文締切日, 納品日, 配達料.

2. 窓口販売

納品日以降に来所いただければお渡しできます。

Table with 3 columns: 区分, 28年1月, 2月. Rows: 注文締切日, 納品日.

3. お申し込み

所定の申込用紙により事務局あてFAX等でお申し込みください。ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

問い合わせ 会員サービス課【TEL 22-2191 FAX 26-7007】

豊田出張所の開設

開設日 原則・毎週月・水・金の3日間 開設時間 午前10時から午後4時 ご用の方は、お電話で在室をご確認ください。 豊田出張所:中野市豊田支所2階 TEL/FAX 38-3044

団体割引に必要な会員番号は宛名ラベルに記載しています

対象:PL保険プラン、業務災害補償プラン 休業補償プラン、集団扱自動車保険